



# みくも

No. 10

令和8年(2026年)2月2日

湖南市立三雲小学校

TEL 72-0025 児童数529名

校長 鈴木朋美

## 次世代を担う一人として

新しい年になり、早いもので1月が過ぎ2月を迎えました。6年生が卒業する日も近づいています。こうして子どもたちは一歩一歩大人へと成長していき、やがて社会の一員としてそれぞれが置かれた場で新しい時代を築いていきます。子どもたちには、人任せではなく、自ら考え、自分がよりよい環境や社会にしていくんだという気持ちをもち、自分にできることを積極的に行っていってくれることを日々願っています。

1月23日(金)に、6年生が校外学習で湖南市議会の議場と、滋賀県平和祈念館に行きました。議場では、市役所の仕事や市議会で話し合われていること等を説明していただき、私たちがよりよく暮らせるために働いてくださっていることを知りました。実際に座席にも座させていただき、子どもたちが疑問に思っていることや、市に対する要望を発言するという貴重な体験もさせていただきました。このような場を訪問することが、これから自分たちが住む地域をよりよくすることを考えたり、実際に行動したりしようという主体的な態度がさらに育つきっかけになればうれしいです。

また、滋賀県平和祈念館では、講話を聴き、展示物を見学して平和学習に取り組みました。平和祈念館の先生が、戦時中の滋賀県や湖南市の様子についてとても詳しく話してくださいました。どのようにして当時の若者は兵隊として戦争に行くことになったのかということや、小学生も戦う訓練や食糧生産のために運動場を畠にして作業をしていたこと、空襲があつて犠牲になった小学生がいたことなど、聴いていて戦争は決して遠いところで起こっていたことではないということがひしひしと伝わってきました。聴いていた子どもたちの顔は、真剣な表情で、自分だったらと考え、話に引き込まれているようでした。講話の中で、戦争を経験された方の「戦争の記憶が遠ざかるとき、戦争がまた私たちに近づく」という言葉が紹介されました。戦争経験者が徐々にいなくなっていくことを憂う言葉ではありますが、子どもたちのように戦争を経験していくなくても、このような平和学習に取り組み、そこで感じたことや学んだことを忘れないことが戦争をなくしていくために必要なことなのではないかと思いました。

### 【議場見学】



【滋賀県平和祈念館】



## 5・5交流～次年度の入学の5歳児と5年生が交流～

1月15日(木)に令和8年度入学児童の入学説明会を行いました。それに並行して、次年度本校に入学する5歳児の子どもたちと、5年生が学校探検をとおして交流しました。5年生は、5歳児の子どもたちが入学を楽しみにしてくれるよう、また安心して学校生活をスタートできるようにという願いをもって、交流が楽しい時間になるようにと計画と準備を進めてきました。当日は、スタンプラリーのようにして、5年生と5歳児の子どもたちが一緒に校内のいろいろな特別教室を回り、それぞれの場所では、担当の5年生が工夫を凝らした説明やクイズ等を行いました。5歳児の子どもたちのかわいい表情やしぐさに目を細める5年生と、楽しんでいる5歳児の子どもたちの笑顔が溢れる素敵な時間になりました。今回交流した5歳児の子どもたちが1年生になってからも、5年生は最高学年として様々な場面でサポートしてくれることでしょう。5年生は、いよいよ自分たちが次の三雲小学校のリーダーであるという気持ちが高まったのではないかと思います。この後、6年生を送る会という大きな行事を学校の中心となって進めながら、さらにリーダーとしての自覚をもって行動していくことを期待しています。



## 6年生 いのちの学習

毎年6年生は、助産師の方に来ていただき、「いのちの学習」を行っています。今年も1月22日(木)に助産師の齊藤様にご来校いただき、講話を聴かせていただきました。私たちがどのようにして生まれてきたのか、映像を使って生命の神秘について説明してくださいました。そして、私たちは、長く長いのちのバトンがつながれて今ここにいること、生まれてきたことは奇跡であること、多くの人の愛情を受けて育ってきていることを伝えてくださいました。この学習をきっかけに、今生きている全ての人がかけがえのない存在であることを忘れずに、自分のことも、周りの人のことも大切にできる人になってほしいと思います。

